

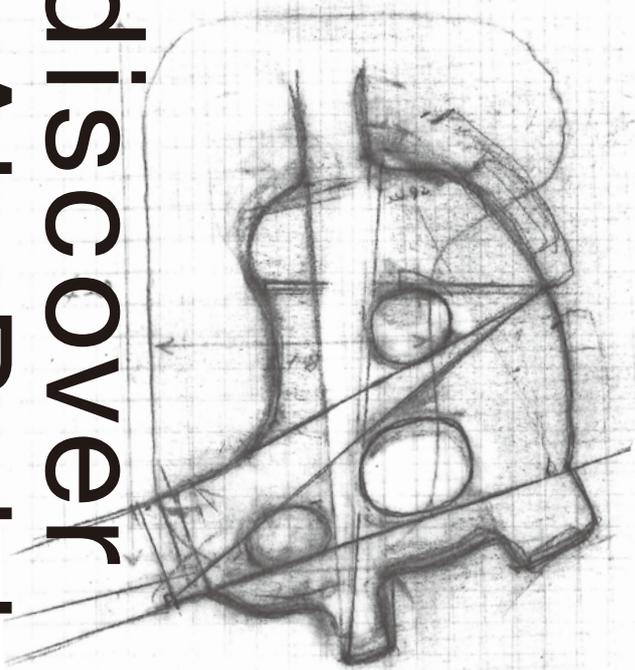


2020 3.6 FRI → 3.29 SUN

展覧会

しらの細道5

のがけっぷち の 防空壕



Rediscover the Air Raid Shelters

金・土・日のみ開室 13時-20時 [入場無料]

* 3月8日関連トーク実施中は展示をご覧いただけません

主催/せんだいメディアテーク ((公財) 仙台市市民文化事業団)

企画制作/伊達 伸明(美術家) 写真撮影/越後谷出 資料提供/仙台・空襲研究会

TRAC

Tohoku Research-based Art Center
東北リサーチ&アートセンター

がけっぶちの防空壕

しらべの細道 5

戦時中仙台市内に造られた

防空壕のほとんどは、戦後復興とともに使命を終えて姿を消しましたが、崖面に掘られた横穴式防空壕の一部は、時計の針を止めたまま今も人知れず

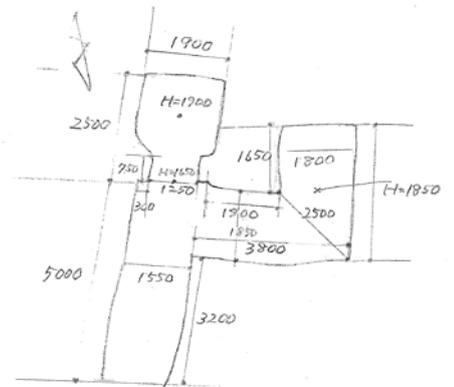
残存しています。本展ではそれらを、仙台・空襲研究会の新妻博子氏の資料とオリジナル写真でご紹介します。

仙台・空襲研究会

空襲体験者への取材・内外の資料分析により空襲を多角的に調査し記録。その一環で防空壕調査も行う。他に仙台市戦災復興記念館の展示制作協力、空襲・戦災を記録する会の全国大会開催など。

越後谷出 えちごや・いする

仙台市出身。写真家、大学非常勤講師。日常生活の中で見過ごされがちなものを写真を通じて再発見しようと試みている。個展「流域」(ウエスティンホテル仙台/2015年)、「流域」(ニコンプラザ仙台/2016年)。



関連トーク 防空壕のいま

【日程】2020年3月8日(日)13:30~15:30

【内容】年代・興味・職業・特技が異なるメンバーが、それぞれの眼力を持ち寄り75年前の暗闇を切り開いていく奇跡のエピソード満載。ガケの見方が変わります。話題提供/仙台・空襲研究会(新妻博子、佐藤陽子、斎藤広通)

【会場】東北リサーチとアートセンター 【参加】無料 【定員】20名

【申込方法】事前申込制(先着順)。2020年2月6日10時より電話とメールにて受付開始。下記申込先(メディアテーク)に催し名(防空壕トーク)、氏名、電話番号をお伝え下さい。

* 関連トーク中は展示をご覧いただけません。* 当日は事業記録のため、写真撮影を行います。

トーク申込み先・ 展示についてのお問合せ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
Tel 022-713-4483
Fax 022-713-4482
artnode@smt.city.sendai.jp

「しらべの細道」とは？

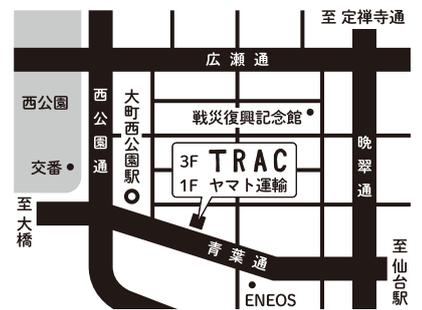
研究や事業の準備段階とされる「しらべること」自体の魅力に着目する伊達伸明が、必ずしも自己表現を目的としないながらも、着眼点や圧倒的な蓄積ゆえに社会性を持つに至ったさまざまな活動の中から、その魅力やプロセス、記録方法などを紹介するシリーズ。

企画制作/伊達伸明 だて・のぶあき

1964年兵庫県生まれ。美術家。取り壊される建物から生活痕の残る材料を用いてウクレレを制作し、元の住人に手渡す「建築物ウクレレ化保存計画」を主宰。仙台では2012~2015年に「垂炭香古学」、2017年~「しらべの細道」を実施。



〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-22第五菊水ビル3階
TEL・FAX 022-397-7256 (金土日13:00~20:00)
【ホームページ】trac.smt.jp
【最寄り駅】地下鉄東西線「大町西公園駅」東1出口(徒歩1分)



主催/せんだいメディアテーク
(公財)仙台市市民文化事業団

この紙はリサイクルできます